

2011年9月28日

## 高まる10代女性の『将来の老化にそなえたエイジングケア』志向 ～ポーラ文化研究所からアンチエイジングに関するレポートを発行しました～

株式会社ポーラ・オルビスホールディングスのポーラ文化研究所は、化粧文化研究の一環として、15～64歳の女性1500人を対象とした化粧行動・意識に関する調査を行い、9月28日にレポート「肌の老化実感と女性のエイジングケア意識」を発行しましたのでご報告します。

本レポートは[ポーラ文化研究所ホームページ「化粧と生活の調査レポート」](http://www.po-holdings.co.jp/csr/culture/bunken/report/index.html)にてご覧頂けます。

URL: <http://www.po-holdings.co.jp/csr/culture/bunken/report/index.html>

調査では、顔の肌の老化実感者やエイジングケア(アンチエイジングを目的とするスキンケア)現実行者が少ない若年層においても、エイジングケア意識の高まりが確認できました(図表1)。

2011年に行った今回調査と2008年の調査結果を比べると、10代後半において「将来の肌の老化を不安と思っている人」、「肌へのアンチエイジングに興味がある人」、「エイジングケア今後実行意向者」が大幅に増えていました。

肌の老化に直面する前の若年層でも、メディアや周囲からアンチエイジングに関する情報を受け取る機会は多く、将来の肌の老化に対する不安がふくらみ、より若い年代からエイジングケア意識の高まりがあらわれているとかがえます。

図表1 アンチエイジングに関する意識の推移 (基数：対象者全員)

	老化実感者		エイジングケア 現実行者		将来の肌の老化を 不安と思っている人		肌への アンチエイジングに 興味がある人		エイジングケア 今後実行意向者	
	08年調査	11年調査	08年調査	11年調査	08年調査	11年調査	08年調査	11年調査	08年調査	11年調査
10代後半	8%	12%	4%	5%	31% → 45%	14% → 32%	51% → 71%			
20代前半	25%	12%	9%	5%	52%	51%	40%	41%	75%	82%
20代後半	26%	26%	17%	19%	59%	56%	49%	57%	86%	84%
30代前半	41%	46%	31%	23%	66%	59%	60%	60%	87%	88%
30代後半	42%	48%	35%	33%	68%	60%	60%	63%	91%	93%
40代前半	43%	51%	37%	44%	54%	59%	69%	61%	91%	87%
40代後半	52%	53%	56%	39%	44%	51%	68%	63%	89%	87%
50代前半	51%	52%	49%	45%	46%	46%	59%	56%	86%	83%
50代後半	54%	52%	48%	50%	49%	45%	59%	53%	83%	83%
60代前半	49%	55%	46%	42%	41%	38%	52%	50%	85%	75%

※r数：08年調査 各年代100人、11年調査 各年代150人

**【リリースに関するお問い合わせ】**

株式会社 ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室  
 〒104-0061 東京都中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル

TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

**【調査内容に関するお問い合わせ】**

ポーラ文化研究所

TEL 03-5795-0941 / FAX 03-3280-8891

また、エイジングケア今後実行意向者に、実感している老化現象をたずねたところ、20代前半以下の若年層では「特にない」、40代以上では「たるみ」がトップにあがりました(図表 2)。将来不安に思う老化現象について、20代以下では「シミ・そばかす」、40代後半以上では「たるみ」がトップとなっています。

若年層では、実感している老化現象と将来不安に思う老化現象の上位は一致しないことが多いものの、年齢を重ねた年代では、実感している現象と同じ現象を、将来不安に思っていることが多い状況です。

若年層では、現在は未経験であるが、将来経験するであろう老化現象を不安に思い『将来の老化にそなえたエイジングケア』、年齢を重ねた年代では、加齢による老化現象に直面した上で、将来も不安に思い『現状と将来の老化対策のエイジングケア』を行いたい意識があると考えられます。

図表 2 実感している老化現象と将来不安に思う老化現象 (基数: エイジングケア今後実行意向者 1248 人)

	実感している老化現象		将来不安に思う老化現象	
	1位	2位	1位	2位
10代後半 (n=107)	特にない	吹き出物・ニキビ	シミ・そばかす	小ジワ・シワ
20代前半 (n=123)	特にない	毛穴の汚れの目立ち	シミ・そばかす	小ジワ・シワ
20代後半 (n=126)	シミ・そばかす	かさつき・乾燥	シミ・そばかす	頬の目の目立ち
30代前半 (n=132)	シミ・そばかす	毛穴の開きの目立ち	小ジワ・シワ	シミ・そばかす
30代後半 (n=139)	シミ・そばかす	毛穴の開きの目立ち	シミ・そばかす	小ジワ・シワ
40代前半 (n=131)	たるみ シミ・そばかす	頬の目の目立ち	頬の目の目立ち	小ジワ・シワ
40代後半 (n=130)	たるみ	シミ・そばかす	たるみ	シミ・そばかす
50代前半 (n=124)	たるみ	小ジワ・シワ	たるみ	シミ・そばかす
50代後半 (n=124)	たるみ	小ジワ・シワ	たるみ	小ジワ・シワ
60代前半 (n=112)	たるみ	小ジワ・シワ	たるみ	小ジワ・シワ

【調査概要】

調査名: 女性の化粧行動・意識に関する実態調査～スキンケア・メイク篇 2011～

調査時期: 2011年5月 調査方法: インターネット調査

調査対象: 首都圏(埼玉県,千葉県,東京都,神奈川県)に居住する15～64歳の女性1500人

【主要調査内容】

肌の老化実感状況、実感している老化現象、将来の老化不安、自分が思う肌年齢・見られたい年齢、行っているアンチエイジング対策、スキンケア・メイクアイテムの使用・購入状況など

※本調査はポーラ文化研究所が2007年から継続して行っている調査です。